

修士論文要旨

開放環境科学 専攻	学籍番号 80226587	フリガナ 氏名	ひだ せいこ 日田 聖子
(論文題目)			
WWWナビゲーション履歴の共有による情報検索支援に関する研究			
(内容の要旨)			
<p>インターネットの利用者は年々増加しており、その利用目的として「情報検索」は上位を占めている。WWW(World Wide Web)上から目的の情報を探すために、利用者は検索エンジンを利用し、試行錯誤しながら情報を探す。このような情報探しにおいては、1人の利用者が探すだけでは発見できる情報が限られてしまう。そこで、WWW上の他の利用者と情報交換をすることが考えられる。現在、このような考えからブックマーク共有サービスが提供されている。目的が近い他の利用者のブックマークは自分にとって有効であると考えられ、有益なサービスとなっている。しかし、有効なWebページのみを共有するサービスでは、検索活動の効率化を支援することが難しくなっている。</p> <p>検索活動を効率化するために有効である情報とは、有効なWebページだけでなく、利用者のWWW検索行動そのものであると考える。WWW検索行動とはWWW上から情報を探す行為そのものであり、情報検索開始から終了までの一連の行動情報である。過去に類似の検索を行った他の利用者の検索行動を参考にする事で、情報の取捨選択作業を軽減し、効率化を図ることが出来ると考えた。</p> <p>そこで本研究では、利用者間でWWW検索行動を共有するシステムを提案する。</p> <p>提案するシステムでは、過去に類似の検索を行った複数人のWWW検索の様子が視覚的に表示される。そこから、Webページ閲覧、リンクを辿った経路、検索エンジンへの質問、検索エンジンの結果リストからの選択行為が読み取れるようになっている。</p> <p>視覚化するためのWWW検索行動はProxyサーバのログから取得した。視覚化部分はVRML(Virtual Reality Modeling Language)で作成し、Webブラウザで閲覧可能である。また、多くの人が閲覧したWebページの色を変えて表示し、経路の色を動的に変える機能も付け、見易くなるよう工夫した。</p> <p>先人が行った検索行動を参考にする事で、WWW検索の効率化を支援することが出来るかについて、試作したシステムを使用して、既存の方法との比較実験を行った。これより、提案方法により検索が効率化される可能性があるという結果が得られた。しかし、改善すべき課題も残された。今後それらの課題を解決し、より良いものにしていきたいと考える。</p>			